

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

### 北朝鮮とベトナムの公安機関が会談

『朝鮮新報』によれば、2011年4月15日、北朝鮮の人民保安部代表団とベトナム公安省代表団の会談が平壤で行われた。会談には、北朝鮮側から李明秀人民保安部長を団長とする代表団メンバーが、ベトナム側から共産党政治局員のレ・ホン・アイン公安相を団長とする代表団メンバーらが参加した。

### 羅先に軽工業地区形成

2011年4月13日発『朝鮮中央通信』は、羅先経済貿易地帯に軽工業地区が形成されていると報じた。同通信は、羅先工業会社の李哲秀社長の言葉を引用しながら、羅先経済貿易地帯が輸出品の加工貿易拠点に発展できる有利な条件を持っていると紹介した。

### 金正日総書記が重要な製鋼所を訪問

『朝鮮新報』によれば、金正日総書記が2011年4月20日、金策製鉄連合企業所を、同24日には城津製鋼連合企業所を訪問した。総書記は、金策製鉄所が昨年は朝鮮式溶鉱炉による「チュチュ鉄」生産システムを完成し、今年是他国に依存していた重油鋼片生産システムに終止符を打ち、朝鮮の燃料に基づく新しい鋼片生産システムを確立したと述べた。また、金策製鉄所に提起される最も重要な課題は、「チュチュ鉄」生産の規模を拡大してCNC化の目標を練り上げて果たし、熱間圧延だけでなく冷間圧延工程も朝鮮式に稼働させて円滑に送ることだと述べた。

城津製鋼所は2009年、金策製鉄所よりも先に「チュチュ鉄」生産システムを完成させているが、その後、酸素溶融炉1基と垂直酸化焙焼球団鉄炉をはじめ多くの対象を新設したとのことだ。金正日総書記は、鋼鉄の生産を増やすためには既存の「チュチュ鉄」生産能力を最大限発揮させると同時に、新たな能力造成のための目標をより高く大きなスケールで定めて、その事業を粘り強く行わなければならないと指摘した。

### 竜城機械で、地熱冷暖房設備の生産開始

2011年5月13日付『朝鮮新報』によれば、竜城機械連合企業所（咸鏡南道）が地熱水技術を自力で開発し、設備の生産を開始した。この設備は、「地熱水を利用して建築物の冷暖房を賄える高性能の省エネ型設備」とのことだ。

### 平壤春季国際商品展開催

『共同通信』によれば、2011年5月16日～19日、平壤の

三大革命展示館で平壤春期国際商品展（見本市）が開催された。『朝鮮新報』によれば、展示会には北朝鮮と中国、ドイツ、マレーシア、モンゴル、シリア、スイス、シンガポール、英国、オーストラリア、オーストリア、イタリア、インドネシア、フランス、ポーランド、台湾の企業が展示品を出品した。

### 新たな金剛山観光特区法が制定

2011年6月2日発、『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮民主主義人民共和国金剛山観光特区法が同年5月31日に採択された。同日付の最高人会議常任委員会政令第1673号は、2002年に採択された金剛山観光地区法とその施行規定が効力を失うことを明記している。

新たな特区法では、金剛山地区全体に対する南側の独占権を否定しつつも、南側の観光客の投資や観光を否定してはいない。3年間にわたって南側からの観光が中断している現状で、南側からの観光については、従前の事業者を尊重しつつ、北朝鮮国内や在外朝鮮人、北側から金剛山を訪問しようとする外国人への観光を行えるようにする改正といえる。投資業種としては、カジノ、ナイトクラブ、治療などが追加され、「ソフトウェア産業等の公害のない先端科学技術部門」が削除されている。

### 黄金坪・威化島経済地帯創設

2011年6月6日発、『朝鮮中央通信』によれば、最高人民会議常任委員会は同日、政令第1693号「朝鮮民主主義人民共和国黄金坪・威化島経済地帯を置くことについて」を発表した。

### 高原一咸興道路竣工

『朝鮮新報』によれば、江原道最北の川内に隣接する咸鏡南道の高原と道庁所在地である咸興を結ぶ道路の拡張工事が完了し、2011年6月17日に竣工式が行われた。なお、江原道の道庁所在地である元山と川内はすでにきれいにコンクリート舗装されており、元山一咸興間の交通がより便利になった。

### 金剛山国際観光特区指導局が南側に財産処理協議を通告

2011年6月17日発、『朝鮮中央通信』によれば、金剛山観光特区指導局が新たな金剛山国際観光特区法に基づいた不動産をはじめとするすべての財産を整理することに関して、すべての南側当事者が凍結、没収された財産の処理問題を協議するために来る30日までに金剛山に入ることを求めるとのスポークスマン通知を出した。

（ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘）